

6500/6000 LANE モジュールのパスワード回復手順

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[表記法](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Catalyst 6500/6000 LAN エミュレーション (LANE) モジュールのパスワード回復方法について説明します。このドキュメントでは、次のモジュールについて説明します。

- Catalyst 6500 OC-12 ATM LANE (MMF) モジュール (シングルモード光ファイバ[SMF]) モジュール (部品番号: WS-X6101-OC12-SMF)
- Catalyst 6500 OC-12 ATM LANE (MMF) モジュール (マルチモードファイバ[MMF]) モジュール (部品番号: WS-X6101-OC12-MMF)

前提条件

要件

このプロシージャに関しては、ストレートケーブルを必要とします (クラシック、十分に交差させたケーブルの代りに)。

注意: Catalyst 6500/6000 LANE モジュールのパスワード回復手順は (この資料の最初の出版物の時の、Cisco IOS® ソフトウェア リリース 12.1(4)E2 である) と最新のソフトウェアリビジョン壊れます。詳細なバグ情報に関しては Cisco バグ ID [CSCdt05579](#) ([登録ユーザのみ](#)) を参照して下さい。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ステップバイステップ手順

この資料は Catalyst OS (CatOS) ソフトウェア バージョン 6.1 (1b) が付いている Catalyst

6500/6000 Supervisor Engine と Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.0(5)XS1 が付いている Cisco ATM LANE モジュールのパスワード回復手順を記述したものです。

1. ATM LANE モジュールのコンソールポートにターミナル エミュレーションがあるターミナルが PC を取り付けて下さい。次のターミナル設定を使用します。9600 baud rate
No parity
8 data bits
1 stop bit
No flow control
2. **show version** コマンドを発行し、コンフィギュレーションレジスタの設定を記録して下さい。[Cisco 1600 シリーズ ルータにおけるパスワード回復手順のドキュメントのパスワード回復手順の例](#) セクションは **show version** コマンドの出力を提供します。コンフィギュレーションレジスタ設定値は通常 0x2101 または 0x101 です。
3. Catalyst 6500/6000 の Supervisor Engine に行き、**リセット modnr** コマンドを発行して下さい。
4. 電源の 10 秒以内に端末キーボードの **Break** を入れますまで ROM モニタ (ROMMON) にモジュールを押して下さい。ブレイクシーケンスが正しく動作しない場合、他のキーの組み合わせについて、『[パスワード回復時の標準的なブレイクキーシーケンスの組み合わせ](#)』を参照してください。
5. 設定をロードしないでフラッシュするから起動する rommon 1> プロンプトで **confreg 0x2142** コマンドを発行して下さい。
6. rommon 2> プロンプトに対して **reset** を実行します。モジュールはリブートしますが、保存された設定を無視します。
7. これらの質問が画面で現われるように、太字にここに現われる応答を入力して下さい: Would you like to enter the initial configuration dialog? **yes** 基本管理を入力するのを好みます設定するためにか。 **いいえ** 現在のインターフェイスを参照するのを好みます設定するためにか。 **いいえ** ホスト名を入力して下さい: **ホスト名** enable secret を入力して下さい: **新しいパスワード** パスワードを入力します。 **password** 仮想端末装置のパスワードを入力して下さい: **password** 注: これは暗号化される新しいパスワードを入力するところです。設定 SNMP ネットワーク管理か。 **いいえ** 注: enable secret password を規定しない場合、**no encryption** を入力して下さい。設定を保存することを選択できるメニューがによって表示されるまで入力しないで下さい。設定を保存するために **2** つを入力して下さい。
8. ATM> プロンプトで **enable** コマンドを発行して下さい。
9. 新しいパスワードを入力します。イネーブルモードになり、ATM# プロンプトが表示されます。
10. メモリに NVRAM をコピーするために **copy start running** コマンドを発行して下さい。
configure terminal コマンドは実行しないでください。
11. **write terminal** コマンドが **show running** コマンドを発行して下さい。
12. configure terminal コマンドを実行して、必要な変更を行います。プロンプトが hostname(config)# に変わります。
13. **config-register 0x2102** コマンドを、カステップ 2. で記録した値を発行して下さい。
14. **Ctrl+z** を押して、コンフィギュレーションモードを終了します。プロンプトが hostname# に変わります。
15. 変更を保存する **write** コマンドを発行して下さい。
16. 新しいコンフィギュレーションレジスタで再起動する **reload** コマンドを発行して下さい。

[関連情報](#)

- [LAN 製品に関するサポート ページ](#)
- [LAN スイッチングに関するサポート ページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)